

## 日本被団協 田中代表委員講演会

# 核廃絶の歩みを引き継ぐ

兵庫県被団協が11日、「日本被団協結成70年、その歩みを次の世代へ」と題した講演会を開きました。被団協代表委員の田中熙巳さんが講演するということでも予約がいっぱい、別室を用意しましたがそれでも足りないくらいでした。

田中さんは「戦後、多くの被爆者は全国に散り散りになり、差別のなかで密かに生きてきました。政府やGHQは被爆の事実を隠そうと圧力をかけ、被爆者は苦難の生活



田中熙巳被団協代表委員

を強いられました。被爆者が声を上げたのは1954年の第五福竜丸事件（アメリカの水爆実験で福竜丸が被爆、乗組員が死亡した）から。全国の被爆者が補償を求め、核兵器を使って

はいけないという運動が広がり、1956年の被団協結成につながった」と報告。「核兵器がどれだけ非人道的な兵器であるかは被爆者が語っていくしかない」と力強く話されました。

後半は小・中・高・大学生などの若者が空襲や原爆の話に触れてきた経験をもとにそれぞれの意見を報告。憲法を生かす会・灘主催の講演会でお話をされた高校生平和大使の原野さんも核兵器廃絶への思いを報告しました。

### 核兵器禁止条約批准 非核3原則を壊すな

先の衆院選では高市自民党が圧勝。日本の政治はますます右傾化しようとしています。これに抗して核兵器禁止条約の批准、憲法9条、非核三原則、非核神戸方式をしつかりと守っていかねければと改めて考える機会になりました。



俳優 吉永小百合

「日本政府は憲法を変えて、戦争に参加する道を準備しようとしています。戦争とは、国が人に人殺しを命ずること。どんな戦争にも、正義はありません。核兵器の廃絶と、世界の平和を求めて、みんなのできる限りの行動をしましょう」

## 核廃絶、世界平和へ 吉永小百合さんが訴え

俳優の吉永小百合さんが、護憲・反戦・核兵器廃絶を訴えて、だれもが利用できる画像を公表されました。憲法を生かす会・灘ではこの画像を拡大してスタンディング行動のポスターとして使用させていただきました。政治的沈黙をする芸能人が多いけど、吉永さんは・・・



左は新社会党灘総支部のHPのQRコード、順次更新します

### なんでも相談ください

新社会党 灘総支部  
078-801-6530  
サービス残業、パワハラ、職場のトラブル  
NPO 法人 働く人の相談室  
078-945-7703

### 憲法を生かす会・灘

憲法を生かす会・灘のニュースは「憲法さんさん」と改題して発行を再開しました。憲法が燦爛と輝いてほしいとの願いが込められたネーミングです。改題1号（通刊243号）は新社会党灘総支部ホームページからも見ることができます。

### 『おはよう新社会党です』 HEADLINE

- 第1328号(1月8日、JR六甲道) 戦争より平和を、4党首共同街宣
- 第1329号(1月15日、阪急六甲駅) 米国のベネズエラ攻撃に抗議
- 第1330号(1月22日、王子公園駅) 統一協会、献金、国保追及と逃れ解散
- 第1331号(2月12日、阪急六甲駅) 高市政権に白紙委任したのでは

**おはよう川柳**  
春が好き  
花粉なければ  
もつと好き  
まだ2月。こんなに寒いのに天気予報では花粉情報が流れる。「飛散少ない」のに鼻がムズムズ。もうそんな時期なのか。春は好きだから、花粉のない春なら早く来て。

**環境アセスメント実施を**  
王子公園内の王子プールは既に解体。今、解体が強行されている王子スタジアムは有害物質のアスベストが使用されている。周辺は住宅地で保育園、小・中・高、大学、特別養護老人ホーム、児童館等文教地区でもある。大気汚染、騒音、光・風害など様々な環境汚染が考えられることから「環境アセスメント」実施を再三求めてきたが、神戸市や関学は自治会長への個別訪問だけで説明責任を果たしたと言う。許されない。  
前市会議員 小林るみ子

新社会党声明

# 憲法を壊すな 呼びかけよう 拡げよう！

高い支持率を背景に、高市首相が自身への「選択」を迫った総選挙が終わった。首相自身に関わる統一教会との関係や裏金問題への追及から逃げ切りを図った身勝手極まりない解散だった。「国論を二分する大胆な政策の推進」には信任が必要とし、さらに、与党が安定多数を確保すれば、間接的に国民が総理大臣を選んだことになるとも述べ、事実上の「白紙委任」を求めた。議会制民主主義の土台すら否定するものだ。

「よく分からないが、何か変えてくれそう」と、ふわりとした高市支持によって自民党は単独で改憲発議できる3分の2超の議席を獲得。

野党第一党の中道改革連合は、選挙のための合流を見透かされた。候補者も混乱したまま、与党との違いは見えず惨敗した。与党の日本維新、参政党や国民民主党は一定の議席を確保し、チームみらいは躍進した。

新社会党が支援した社会民主党は議席を獲得できなかった。昨年末から憲法を軸に連携している日本共産党も後退した。「国論二分」の政策について、首相はほとんど語らなかったが、維新との合意から次の提案が予測される。①安保三文書改定の前倒し、②スパイ防止法創設、③武器輸出の完全解禁、兵器工場の国営化、③国旗損壊罪創設、そして改憲案の国会提出などだ。旧姓使用の法制化や非核三原則見直しもある。

我々が急いで取り掛からなければならないことは、昨年末から模索が始まった日本共産党、社会民主党、新社会党、沖縄の風による、憲法を軸に「戦争させない」「一人ひとりの暮らしや権利を守ることができる」社会をつくるためのブレない連帯を地域に拡げることだ。立憲野党共闘の再構築も念頭に、歴史の逆戻りを許さない人々と共に声をあげよう。立ちすくんでいる時ではない。

2026.2.9 新社会党中央本部

## 憲法を生かす会・灘

# 3の日行動

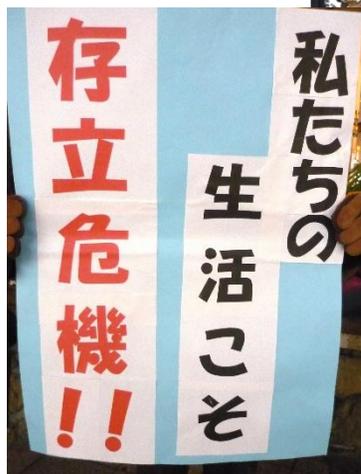
3の日行動は、2015年安倍内閣が進めた安保法制に反対して作家の澤地久枝さんが「アベ政治を許さない」のスローガンを提唱、毎月3日に掲げようという提案で始まりました。

JR六甲道駅北でスタンディング

昨年10月、高市政権が発足しました。アベ後継を自任する高市首相はこれまでの菅・岸田以上に軍拡に前のめりで、軍事費をDGP2%の前倒し、さらにトランプの「3.5%」に応じていく気配です。

突然の解散・総選挙で高市首相は「国論を二分する」（憲法改悪など）ことに白紙委任を求めています。とても容認できるものではありません。

憲法を生かす会・灘は各地の「3の日」行動に呼応して、スタンディング行動を始めました。



次回3の日行動は3月3日、いっしょにスタンディングに参加しませんか。



①政府に核兵器禁止の意見書の提出を  
2017年7月、核兵器禁止条約」が採択され、

立川会長は「広島・長崎に投下された原子爆弾は多くの命を奪いました。被爆者はこの惨劇を繰り返さないために核廃絶を訴えてきました。その活動が評価されノーベル平和賞を受賞しました。核使用の危険が迫るなかで神戸市においても核廃絶のために尽力をお願いしたい」と次の申し入れを行いました。

②原爆被害を後世に伝える活動に協力を  
被爆者の平均年齢は86

今年1月現在、99の国・地域が批准しています。しかし、唯一の戦争被爆国の日本政府が批准しようとはしません。全国の自治体議会の42%が核兵器禁止条約の批准を求めています。神戸市も日本政府に対して「早期批准」の意見書の提出を強く求めます。

爆会「核兵器禁止に向けた取り組みの強化」を神戸市に申し入れ  
神戸市原爆被害者の会（立川 重則会長）は1月27日神戸市に対して「核兵器禁止に向けた取り組みの強化を求める申し入れ」を行いました。



神戸市に要請する立川会長(右)

を神戸市の「後援」から「共催」とし、教育委員会から市民、児童・生徒に参加の働きかけを。神戸市歴史公文書館で平和教育への一層の尽力を。真・絵画展」